

# 江別商工会議所 ななかまど通信

## 日商景気観測調査 5月調査結果 業況DIは、感染拡大に伴う活動制約から足踏み 先行きは、不透明感増す中、厳しい見通し

日本商工会議所が発表した5月の全産業合計の業況DIは▲25.0と前月から0.3ポイントの改善。

米国・中国などの海外経済の回復に伴い、需要増が続く半導体・電子部品関連や自動車関連の製造業・卸売業が堅調に推移した。一方、小売業では、緊急事態宣言に伴う活動制約・客足減少とともに、前年同月の買いだめ需要の喪失の影響を受けているとの声もあり、業況が悪化した。また、宣言が発令されている地域以外においても活動縮小が発生し、外食・観光関連では業績改善への対応に苦慮している状況がうかがえる。このほか、原材料費上昇によるコスト増加が業種を問わず、広く業況の押し下げ要因となっており、中小企業の景況感は厳しい状況が続く。

先行きについては、先行き見通しDIが▲33.6（今月比▲8.6ポイント）へ悪化。

ワクチン接種拡大による感染抑制効果や、海外経済回復に伴う電子部品関連の輸出増に期待する声が聞かれる。一方、変異株による感染拡大が収まらず、緊急事態宣言が延長されるなど先行き不透明感が増す中、活動制約の長期化への懸念に加え、製品・サービスの受注・売上減少による業績悪化、原材料費や燃料費の上昇による採算悪化を懸念する声は多く、先行きに対して厳しい見方が続く。

ブロック別では、北海道地区が ▲24.4 と、前月から 1.8 ポイント悪化。

◎建設業では、新型コロナウイルスの影響に伴う先行き不安により、設備投資や住宅建設などの民間投資で延期・中止がみられ、売上が悪化。また、サービス業では、北海道においても緊急事態宣言が発令されたことを受け、外出自粛による来客減少がみられた美容業や娯楽施設などで売上が悪化したほか、酒類提供を行う飲食店に対する休業要請に伴い、飲食店を中心に販売単価が低迷し、採算も悪化した。

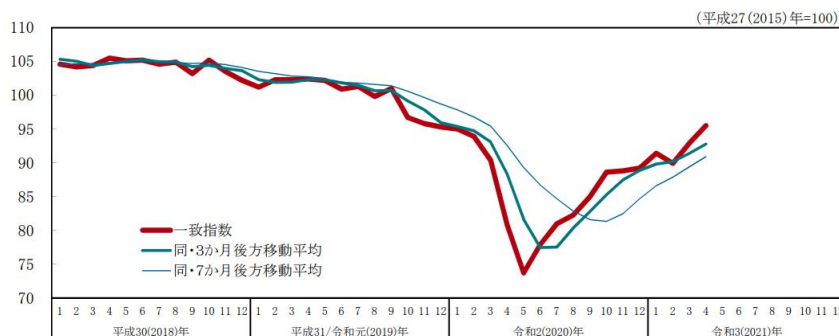
※全国 337 商工会議所が 2,679 企業にヒアリングを実施

## 景気動向指数（令和3年4月分速報）結果の概要

4月のCI※（速報値・平成27(2015)年=100）は、先行指数：103.0、一致指数：95.5、遅行指数：93.7となった。景気動向指数（CI一致指数）の基調判断は改善を示している。

※コンポジット・インデックス（CI）は、構成する指標の動きを合成することで景気変動の大きさやテンポ（量感）を表します。基調判断が改善の場合、景気拡張の可能性が高いことを示します。

① 一致指数の推移



出典：内閣府景気動向指数(令和3年4月分速報)結果の概要